

平成 28 年（2016 年）12 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（2 日目）

平成 28 年 12 月 8 日（木）

割当時間（答弁を除く）

新風会	25 分
なはの翼	
【無所属 G】	25 分
自民党	20 分
無所属の会	10 分

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	平良 仁一 (新風会)	1 議案第 110 号 那覇市空家等の適切な管理及び対策の推進に関する条例制定について	(1) 那覇市空家等の適切な管理及び対策の推進に関する条例を制定するその意義と目的を伺う (2) 空家等対策を推進するうえで条例制定前と制定後の当局の対応を伺う (3) 本市で現在空家の棟数は、どのくらいあるのか。また、その中で所有者不明や連絡がつかない空家があるのか。あれば、どのくらいあるのか、あわせて伺う (4) これらの空家に対し、当局はどのような対策を実施していくのか伺う
		2 第一牧志公設市場再整備事業について	(1) これまでの経緯と現在の取り組み状況を伺う (2) 現在地に建て替え完了するまでの期間、市場事業者はにぎわい広場へ仮設店舗を設置し、入居させることになっているが、入居できない事業者への対応はどうなっているのか伺う (3) 今後のスケジュールについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 28 年 12 月 8 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	渡久地 政 作 (新 風 会)	1 泊魚市場の移転問題について 2 L G B T など性の多様性に関する取り組みについて	(1) 9月に那覇地区漁業協同組合を代表とする泊地区漁業生産者6組合より要請があったが、市長の見解を伺う (2) 移転問題の経緯、漁業者が移転反対としている理由について伺う (3) 移転問題に関する本市の考え方を伺う (4) 本市の泊漁港再整備に向けた取り組みについて伺う (5) 再整備に向けて想定される問題点や課題、また、その対応策について (6) 再整備の財源について 昨年7月19日、第3回ピンクドット沖縄の会場で、「性の多様性を尊重する都市なは」（レインボーなは宣言）を、城間幹子市長が発表した。レインボーなは宣言以降、非常にスピーディーな施策の展開、非常に評価するところである (1) 今年、7月8日戸籍上の性別が同じである2人が、互いを人生のパートナーとするパートナーシップ登録第1号カップルへ登録証明書が城間市長から交付された。現在のパートナーシップ登録制度の登録状況を伺う (2) 11月12日にハワイ州最高裁判所判事サブリーナ・シズエ・マッケナさんを招いて開催された「性の多様性を尊重するまちづくりシンポジウム」について伺う (3) 今後の取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年12月8日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	亀 島 賢二郎 (な は の 翼 【無所属G】)	1 環境行政について	動物サポートセンター(仮称)設置に向けて進捗状況を伺う
		2 道路行政について	(1) 観光振興を図る景観を確保するために、雑草等の除草の取り組みについて (2) 市道天久安里線の道路美化事業の現状と進捗について
		3 教育行政について	小中学校に対して危険ドラッグを含む麻薬に関する危険性の周知と防止策の取り組みについて
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年12月8日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	花城正樹 (なはの翼 【無所属G】)	骨髄ドナー登録について	(1) 日本骨髄バンクが抱えている課題について (2) 全国の政令市や中核市において助成金を支給している自治体について 以上、城間市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（2日目） 平成28年12月8日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	屋良栄作 (なはの翼 【無所属G】)	1 スポーツコンベンションについて 2 違法民泊問題について 3 龍柱について 4 埋蔵文化財調査報告書の補助金返還について	本年で32回を数えるNAHAマラソンも盛況裏に終えた。この実績やノウハウを活かして、本市を中心とする実行委員会をつくり、トライアスロン大会を開催することを提案したい。見解を伺う また、来年から開催されるトライアスロン(マルチスポーツ)の世界選手権大会が2022年には日本で開催される見込みである。世界選手権大会は、国や沖縄県を挙げての大きなスポーツコンベンションになる 県と協力して誘致するべきと考えるが、見解を伺う 住民ファーストの視点・立場から、この問題を分析し、解決に向けて取り組んでいくべきと考える。見解を伺う また、現在取り組んでいる対策や今後行う予定の対策について伺う (1) 昨年5月に可決された付帯決議中の3及び4は、ネーミングライツ等の活用や、マーライオンのように商品開発を促進させるようにと要望している。補助金減額等に伴う歳出増加分を少しでも取り戻すという趣旨であると理解している。進捗状況はどうなっているか伺う (2) 付帯決議中の1について、ボーリング調査の際に破損した下水道雨水管は、応急処置をしたので大丈夫と議会答弁しているが、応急処置をもって事業完了として問題ないか伺う (1) 県や国とどのような調整を行ったか、時系列に沿った説明を求める (2) 市長や副市長との報告・連絡・相談はどのようなになされたか、時系列に沿った説明を求める (3) 具体的に財政上の損失が生じたことについての責任をどう認識し、とる所存か伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 28 年 12 月 8 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	栗 國 彰 (自 民 党)	1 市長政治方針について	(1) 名護市辺野古の新基地建設を巡り、石井啓一国土交通大臣が翁長知事を訴えた辺野古基地建設違法確認訴訟で、多見谷寿郎裁判長は国側の請求を全面的に認め、県側敗訴の判決を下している。翁長知事は敗訴した場合には、確定判決に従う考えを明言している。判決に従うはずの知事は最高裁に上告した。この件について、市長の意見を伺う (2) 辺野古区長、豊原区長は、「辺野古を唯一の選択肢と国が決めているなら移設工事を早く終了させてほしい、と言う区民が多い」と話している。また、名護市議会は 2 会派計 13 人は、防衛省へ若宮防衛副大臣を訪ね、普天間飛行場代替施設の早期実現と地域振興に関する 8 項目を要請している。名護市は依然として厳しい経済状況にあり、閉塞感さえ漂っている。再編交付金の停止により、事業展開が図れず苦慮している。この現況に対する市長の見解を問う (3) 県費でヘリパッド反対抗議参加者を排除している。翁長知事の「ヘリパット受け入れは苦渋の選択」という言葉は、これまで政治家が使った場合は、つまり、容認という意味あいである。市長の見解を伺う (4) 復帰後、沖縄県に沖縄振興予算 11.5 兆円もの多額の投資がされたお陰で、経済は成長発展し、医療福祉、教育、特にインフラ整備に道路港湾、河川改修、学校等の整備が本土並みになっている。現在、観光客が年間 800 万人目前に迫るほど、沖縄の観光客は右肩上がりになり、クルーズ船寄港に支障を来す現象が起きている。そのため大型客船（クルーズ船）バースの整備、入国審査並びに税関取り扱い対応面で長時間に及んでいる現実に悲鳴を上げている。この問題の簡素化の対応への見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(5) 自衛隊を人殺し集団と言う政党がある。自衛隊の任務は急患輸送や大震災等の災害派遣、また、命がけで活動している不発弾処理業務等々、自衛隊は国家国民の人命と財産を、災害等から守ってきた。それでも、自衛隊を人殺し集団となじる政党についての市長の見解を伺う
		2 子ども貧困対策事業について	子ども貧困対策事業として、我が自民党前沖縄担当大臣島尻安伊子氏は、60 億円の予算を付けた。沖縄県の子ども貧困解決に向け、市町村も取り組んでいることと思うが、本市に対する子ども貧困対策事業の予算の配分額と、どのように活用しているのか伺う
		3 一括交付金の5年間の使用について	2011 年仲井眞県政の誕生と共に沖縄振興一括交付金の交付がスタートして今年 2016 年度で5年目の中間年の節目を迎えたが、この沖縄振興一括交付金もあと5年で終了するという事が想定されている。本市の現在までの5年間で執行した一括交付金の金額と件数を伺う
		4 那覇軍港浦添移設容認について	市長は、那覇軍港浦添移設容認をしているが、2017 年2月に浦添市長選挙がある。仮に移設容認反対候補者が当選しても、移設容認の姿勢は変わらないか、市長の意見を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 28 年 12 月 8 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	金 城 敏 雄 (自 民 党)	泊漁港の再開 発について	泊漁港が所在する那覇市は、沖縄県における消費、物流、交通、観光を始めとする経済活動の拠点であり、泊漁港の多くの漁業関係者は、この泊の地で漁業を営む、荒波を乗り越えて発展して参りましたと話している そこで、沖縄県水産業並びに消費地市場の拠点としての那覇市の考え方について以下伺う (1) 那覇市として泊漁港及び泊魚市場の産地及び消費市場の拠点としての再開発について、今後の取り組みを伺う (2) 県、市、県漁連の連携による泊漁港及び泊魚市場再整備の取り組みについて伺う（現時点でどうなっているか） (3) 現在の泊漁港及び泊魚市場に伴う経済効果について伺う（事業の年度取扱高 過去３年度の実績） (4) 第３次那覇市水産業振興基本計画について伺う (5) 沖縄西海岸道路（那覇北道路）の計画について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 28 年 12 月 8 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	中 村 圭 介 (無所属の会)	1 マチグラー における協働 によるまちづ くりについて	(1) 公設市場雑貨部、公設市場衣料部の新規小 間使用者募集を市場の皆様との事前の協議な く打ち切った経緯について問う (2) このことにより、牧志公設市場雑貨部組合 や那覇市第一牧志公設市場組合、中心商店街 連合会から抗議と提言の文書が市長あてに提 出されている。今後の対応を問う (3) 先の定例会で取り上げた第一牧志公設市場 再整備事業説明会（平成 28 年 9 月 7 日開催） の結果がホームページ上で公開されていな い。説明の概要と、市民からの質問とその回 答について公表すべきであると考えてるが、当 局の見解を問う
		2 協働による まちづくりに ついて	(1) 那覇市協働のまちづくり推進部会幹事会の 設立目的と今年度の活動実績、今後の方向性 について問う (2) 協働によるまちづくりの理解を徹底し、取 り組みを推進するために、職員に対しての研 修を増やすべきであると考えてるが、市長の見 解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長